

日本海総合病院では以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本機構倫理審査委員会の承認を得て行うものです。この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

A 病院における身体拘束解除時間の可視化に向けた取り組み
身体拘束解除時間の導入

2. 研究背景と目的

A 病院では 2021 年（令和 3 年）看護部目標に「身体拘束ゼロ」への取り組みが掲げられ、拘束具による身体拘束解除に向けた取り組みを各病棟実践している。A 病院では、身体拘束開始・継続時身体拘束の必要性を診療録に記載し拘束解除の有無を記載しているが、解除した時間は把握していない現状がある。

精神科領域では身体施行時間を算出しているが、急性期病院において身体拘束の解除時間を算出している文献は少ない。

そこで A 病院における身体最小化に向けた取り組みの一つとして、全病棟身体拘束解除時間の導入を検討する。

3. 研究担当者

認知症看護認定看護師 佐々木 恵理子
老人看護専門看護師 五十嵐 千里

4. 研究方法

① データ収集期間

2022 年 4 月～2024 年 12 月

② データの収集方法

独自で作成した経過一覧表のデータを Excel で抽出する。転倒転落件数、DiNQL で身体拘束患者割合、患者 1 人あたりの身体的拘束平均実施日数、75 歳以上の患者割合、拘束実施実人数を中央値で算出する。

各病棟の看護師へ独自で作成したアンケートを実施する。

③ データの分析方法

エクセルによる単純集計、DiNQL で身体拘束率、日数を算出。

④ 研究実施期間

倫理審査委員会承認日より（西暦）論文が受理されるまで

5. 個人情報の取り扱い

研究に使用したデータ（せん妄発症率、身体拘束実施率、身体拘束解除時間、身体拘束実施人数、身体拘束実施日数）等身体拘束やせん妄に関連する情報についてオプトアウト方式により病院のホームページに掲載し、同意を得たものとする。また、看護師を対象に独自で作成したアンケートは無記名自記式質問紙を用い、QR コードを配布し解答をもって同意を得るものとする。データ管理については、個人が特定されないよう管理を行い、個人情報は対象者が特定されることはない。

6. 問い合わせ先

日本海総合病院 治験臨床研究センター
電話 0234-26-2001（代）